

I. 2023 年度の概要

1. 事業について

- (1) 公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団は、「生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究を奨励することにより、この分野の学術の振興を図り、もって、人類の健康と福祉の増進に寄与する」ことを目的として、2010年10月1日に公益財団法人へ移行し、定款に定める事業を開始した。この事業報告及び決算報告書は、2023年4月1日から2024年3月31日までの期間についての当法人の事業活動を取りまとめたものである。
- (2) 2023年度は、第一三共株式会社からの寄附金収入、基本財産の運用収入並びに前年度からの繰越金を活用し、以下のとおり、公益目的事業を助成事業（公1）並びに研究業績褒賞事業（公2）に区分して実施した。

助成事業 （公1）	1. 研究助成 （1）研究助成 （2）PI セットアップ研究助成 2. 海外共同研究支援助成（本年度休止） 3. 研究会・シンポジウム開催助成（本年度休止） 4. 海外留学奨学研究助成
研究業績褒賞事業 （公2）	1. 研究業績褒賞（第21回高峰記念第一三共賞） 2. 褒賞受賞研究テーマに関連するシンポジウム開催（高峰カンファレンス）（本年度休止）

- (3) 本年度から寄付金の増額に伴い、応募数が多くニーズが高いPI セットアップ研究助成を毎年実施し、隔年度実施していた海外共同研究支援助成及び研究会・シンポジウム開催助成を当面休止することにした（2022年12月12日 第47回理事会）。

2. その他について

(1) 指定寄附金収入

第一三共株式会社より2023年4月14日、指定寄附金として2億5千5百万円を受領した。なお、本年度から1億円増額となり、既存事業の強化を行った。

(2) 主要事業活動報告

- ① 2023年4月21日の第27回選考委員会にて、2023年度PI セットアップ研究助成の候補者並びに第21回高峰記念第一三共賞二次候補者の選考を行った。
- ② 2023年5月19日の2023年度（第21回）高峰記念第一三共賞審査委員会にて、同賞の最終候補者を決定した。
- ③ 2023年5月23日の第48回理事会にて、2022年度の事業報告及び決算報告書、2023年度PI セットアップ研究助成者の決定、2023年度（第21回）高峰記念第一三共賞受賞者の決定、2024年度PI セットアップ研究助成及び高峰記念第一三共賞事業推薦・応募要領の件、顧問選任の件、「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項」の各件について審議され、承認された。

- ④ 2023年6月13日の第17回評議員会にて、2022年度事業報告及び決算報告の件について審議され、承認された。
- ⑤ 2023年6月14日、内閣府に2022年度事業報告及び決算報告を提出した。
- ⑥ 2023年7月31日のみなし決議による第49回理事会にて、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規定の改定が承認された。
- ⑦ 2023年8月31日のみなし決議による第18回評議員会にて、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規定の改定が承認された。
- ⑧ 2023年9月1日、内閣府に役員・評議員に対する報酬等の支給基準の変更届出を提出した。
- ⑨ 2023年11月17日の第28回選考委員会にて、2023年度研究助成候補者及び2024年度海外留学奨学研究助成候補者の選考を行った。
- ⑩ 2024年2月6日の第50回理事会にて、2023年度研究助成対象者決定、2024年度海外留学奨学研究助成対象者決定、2024年度事業計画・収支予算・資金調達及び設備投資の見込み、2024年度秋の助成応募要領・選定ガイドライン、高峰記念第一三共賞審査委員会委員改選の各件について審議され、承認された。
- ⑪ 2024年2月6日に2022年度（第20回）・2023年度（第21回）高峰記念第一三共賞の合同贈呈式を4年振りに開催した。
- ⑫ 2024年2月20日、内閣府に2024年度事業計画書等を提出した。

(3) 人事関係

- ① 2024年3月31日現在の関係者の人員数について、理事15名、監事2名、評議員8名。選考委員22名、研究業績褒賞に係る審査委員（高峰記念第一三共賞審査委員）7名（3名減）。顧問6名（1名増）、職員2名。
- ② 2023年5月23日の第48回理事会にて、岸本忠三氏、齋藤英彦氏、猿田享男氏が顧問に就任した。2023年9月20日に猿田享男氏が同年11月10日に別府輝彦氏が逝去により退会された。

II. 2023 年度事業報告

1. 事業の総括

	事業	金額	備考
助成事業 (公1)	1. 研究助成 (1) 研究助成 (定款第4条(1))	100,000 千円	@200 万円×50 件*1
	(2) PI セットアップ研究助成 (定款第4条(1))	44,000 千円	@400 万円×11 件*2
	2. 海外共同研究支援助成 (定款第4条(2))	—千円	@50 万円/件 (本年度休止*2)
	3. 研究会・シンポジウム開催助成 (定款第4条(3))	—千円	@50 万円/件 (本年度休止*2)
	4. 海外留学奨学研究助成 (定款第4条(4))	55,000 千円	2022 年度 @550 万円×6 件 2023 年度 @550 万円×4 件*3
	その他助成事業費	13,011 千円	諸謝金、賃借料、旅費交通費、印刷製本費等
	助成事業計	212,011 千円	
研究業績褒賞 事業 (公2)	1. 研究業績褒賞 (定款第4条(5))	22,145 千円	第21回高峰記念第一三共賞
	2. 研究業績褒賞受賞研究テーマに 関連するシンポジウム開催 (定款第4条(5))	—千円	高峰カンファレンス (本年度休止)
	その他研究業績褒賞事業費	11,450 千円	贈呈式*4、会議費、委託費、 諸謝金、旅費交通費等
	研究業績褒賞事業計	33,595 千円	
	合計	245,606 千円	

*1 寄付金の増額に伴い、採択件数を 20 件程度から 40 件程度へと倍増するとともに、本年度採択の海外留学の助成金交付時期が 2024 年度対象となるため、10 件上乘せし 50 件とした。(第 47 回理事会)

*2 寄付金の増額に伴い、助成金額を 300 万円/件 (助成期間 3 年)、採択件数 5 件程度から 400 万円/件 (助成期間 2 年)、採択件数 10 件程度へそれぞれ増加するとともに隔年実施から毎年実施とした。本年度は、前年度予算未達分にて 1 件増枠の 11 件とした。一方、隔年実施していた海外共同研究支援助成と研究会・シンポジウム開催助成は休止とした。(第 47・48 回理事会)。

*3 2023 年度海外留学奨学研究助成採択者 1 名が辞退したため、本年度の採択件数は 4 件となった。

*4 2022 年度 (第 20 回)、2023 年度 (第 21 回) の合同贈呈式を開催した。

2. 助成事業（公1）

2.1 研究助成（定款第4条(1)）

(1) 概要

当事業は、生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究に従事する研究者に対して、助成を行うことにより、学術及び科学技術の振興を図ることを目的としている。

(2) プログラム：研究助成は二つのプログラムよりなる。

- ① 研究助成
- ② PI セットアップ研究助成

(3) 募集対象

① 研究助成

日本国内在住の研究者

② PI セットアップ研究助成

- (a) 研究責任者（PI）として、2022年度に、原則、研究機関間の移動を伴って日本国内で新たに研究ユニットを立ち上げた、あるいは2023年度に立ち上げ予定の研究者。申請時点で海外滞在者を含む。
- (b) 研究ユニット立ち上げに必要な研究用汎用機器及び備品類の購入可
- (c) 当法人の他種助成金と重複して助成を受けることが可
- (d) 45歳以下（2023年4月1日現在）の研究者

(4) 募集規模

① 研究助成

- (a) 1件当たり200万円（助成期間は、2023年度以降2年間）
- (b) 採択分野：生命科学研究分野・創薬基盤研究分野・新領域研究分野
*本年度より生命科学研究分野・創薬基盤研究分野・新領域研究分野の3分野に分けて募集を行うことが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。
- (c) 採択件数：新規50件（うち10件を女性優先枠）
生命科学研究分野39件（うち女性優先枠7件）、創薬基盤研究分野9件（うち女性優先枠2件）、新領域研究分野2件（うち女性優先枠1件）
*寄付金の増額に伴い、採択件数を20件程度から40件程度へと倍増する。本年度採択の海外留学の助成金交付時期が2024年度対象となるため50件程度の募集とすること、また採択件数は、3分野の応募件数に応じて配分することが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。

② PI セットアップ研究助成

- (a) 1件当たり400万円（助成期間は、2023年度以降2年間）
*寄付金の増額に伴い、助成金額を300万円/件（助成期間3年間）、採択件数5件程度から400万円/件（2年間）、10件程度へそれぞれ増加するとともに隔年実施から毎年実施とする。一方、隔年実施していた海外共同研究支援助成と研究会・シンポジウム開催助成は休止することが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。
- (b) 採択分野：生命科学研究分野・創薬基盤研究分野・新領域研究分野
*本年度より生命科学研究分野・創薬基盤研究分野・新領域研究分野の3分野に分けて募集を行うことが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。
- (c) 採択件数：新規11件（うち2件を女性優先枠）
生命科学研究分野9件（うち女性優先枠1件）、創薬基盤研究分野1名、新領域研究分野1名（女性優先枠）

*採択件数は、3分野の応募件数に応じて配分することが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。また、前年度の予算未達分にて採択件数を1件増枠の11件とすることが第48回理事会で承認された（2023年5月23日）。

(5) 募集方法

当法人ホームページにて応募要領を掲載し、理事会において指定された全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長並びに当法人の評議員、理事、顧問及び褒賞受賞者（高峰記念三共賞・高峰記念第一三共賞）宛にポスター等送付し募集する。

(6) 応募方法

- ① 理事会において指定された全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長並びに当法人の評議員、理事、顧問及び褒賞受賞者（高峰記念三共賞・高峰記念第一三共賞）を推薦者として、応募要領、応募者選定ガイドライン、所定の推薦書を送付する。
- ② 応募者は、上述の推薦者に推薦を依頼する。
- ③ 推薦者は、応募者の中から応募者選定のためのガイドラインに基づき、原則1名を公正かつ適正に選定する。
- ④ 応募者は推薦書を取得後、当法人ホームページの助成 Web 登録システムを通じて、推薦書及び申請書等をデータ送信する。送信された申請書類を当財団にて確認後、申請者に申請を受付けた旨の連絡を行い、受付番号を交付する。

⑤ 応募期間

- (a) 研究助成：2023年6月1日～7月31日
- (b) PI セットアップ研究助成：2023年1月4日～2月20日

⑥ 応募件数

- (a) 研究助成：216件
生命科学研究分野 171件、創薬基盤研究分野 34件、新領域研究分野 11件
- (b) PI セットアップ研究助成：67件
生命科学研究分野 53件、創薬基盤研究分野 10件、新領域研究分野 4件

(7) 選考方法

① 研究助成

第28回選考委員会による選考結果をもとに、第50回理事会にて50名の助成者を決定した。

（附属明細書 [資料 - 1]：2023年度当該助成採択者参照）

② PI セットアップ研究助成

第27回選考委員会による選考結果をもとに、第48回理事会にて11名の助成者を決定した。

（附属明細書 [資料 - 2]：2023年度当該助成採択者参照）

(8) 助成者の表彰

2023年度助成者の贈呈式を行った（2024年2月6日 ステーションコンファレンス東京）。

(9) 助成金の交付

① 交付方法：原則、所属機関の研究奨学金口座を通じて交付する。

② 交付時期

- (a) 研究助成：2024年2月20日に一括交付（2年分200万円/件）。
- (b) PI セットアップ研究助成：2023年8月4日に一括交付（2年分400万円/件）。

(10) 研究成果の報告

- ① 助成者は、助成期間終了後、研究報告書及び収支決算報告書を当法人に提出する。
- ② 助成者の氏名、研究テーマを当法人ホームページに掲載した。

2.2 海外共同研究支援助成（定款第4条(2)）（本年度休止）

(1) 概要

海外の研究機関と共同研究を実施している研究者に助成を行う。

2.3 研究会・シンポジウム開催助成（定款第4条(3)）（本年度休止）

(1) 概要

萌芽的な研究をテーマとした、国際シンポジウムを対象とする助成である。

2.4 海外留学奨学研究助成（定款第4条(4)）

(1) 概要

海外の研究機関にて一定の期間研究に専念する優秀な若手研究者に奨学研究助成金を交付する。

(2) 募集対象

- ① 原則、日本国籍を有し、生命科学分野を専攻する研究者で、年齢が35歳以下（2023年4月1日現在）の研究者。なお、6年制学部卒業者は37歳以下とする。
- ② 海外の大学等研究機関において、2年以上研究に従事することを計画している者

(3) 募集規模

- ① 1件当たり1,500万円（助成期間は、2024年度以降2年間）
* 寄付金の増額に伴い、助成金額を1,100万円/件から1,500万円/件へ増額することが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。
- ② 採択分野：生命科学研究分野・創薬基盤研究分野・新領域研究分野
* 本年度より生命科学研究分野・創薬基盤研究分野・新領域研究分野の3分野に分けて募集を行うことが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。
- ③ 採択件数：6件（うち女性優先枠1）
生命科学分野5件（女性優先枠1件）、創薬基盤研究分野1件
* 採択件数は、3分野の応募件数に応じて配分することが第47回理事会で承認された（2022年12月12日）。また、前年度採択者1名が辞退したため、本年度の採択件数を1件増枠の6件とすることが第50回理事会で承認された（2024年2月6日）。

(4) 募集方法：「研究助成」と同一

(5) 応募方法

- ① 応募方法は「研究助成」と同一
- ② 応募期間：2023年6月1日～7月31日
- ③ 応募件数：48件
生命科学研究分野42件、創薬基盤研究分野3件、新領域研究分野3件

(6) 選考方法

第28回選考委員会による選考結果をもとに、第50回理事会にて6名の助成者を決定した。

（附属明細書〔資料-3〕：2024年度当該助成採択者参照）

(7) 助成者の表彰

2024年度助成者の贈呈式を行った(2024年2月6日 ステーションコンファレンス東京)。

(8) 助成金の交付

① 交付方法：助成対象者の指定する国内銀行口座を通じて交付する。

② 交付時期：年額750万円を毎年4月に交付する予定(2年間)。

(9) 研究成果の報告：「研究助成」と同一

3. 研究業績褒賞事業(公2)

3.1 研究業績褒賞(定款第4条(5))

(1) 概要

当事業は、生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究の進歩発展に顕著な功績をあげ、現在活発な研究活動を行っており、今後も一層の活躍が期待される研究者に対する褒賞を実施する。

(2) 褒賞名：第21回高峰記念第一三共賞

(3) 褒賞対象者

日本国内において、生命科学分野での基礎・臨床研究並びに技術開発、特に疾病の予防と治療の進歩・発展に顕著な功績をあげた研究者や団体

(4) 推薦方法

① 理事会において指定された全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長、学会並びに当法人の評議員、理事、顧問、選考委員及び褒賞受賞者(高峰記念三共賞・高峰記念第一三共賞)に推薦を依頼した(但し、高峰記念第一三共賞審査委員は推薦者より除く)。

② 推薦期間：2023年1月4日～2月20日

③ 推薦件数：18件

(5) 選考方法

① 第一次選考

第27回選考委員会にて推薦候補者の選考を行い、5名が第二次候補者となった。

② 第二次候補者に対し、応募の意思の確認及び応募申請の要請を行った。

(6) 最終選考

① 第21回高峰記念第一三共賞審査委員会は、第二次候補者5名に第一次候補者1名を加えた6名について、応募申請書及び選考委員会結果を参考に審査基準に基づき審議し、最終候補者を選定した。

② 第48回理事会において、褒賞受賞者を決定した。

③ 受賞者名、受賞研究テーマ、受賞理由をホームページにて掲載した。

(7) 受賞者及び受賞研究テーマ

① 受賞者：藤堂 具紀博士(東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野 教授)

② 受賞研究テーマ：「遺伝子組換えウイルスを用いたがんのウイルス療法の開発研究」

(8) 褒賞の内容及び贈呈

① 副賞(2,000万円)を贈呈した。

* 寄付金の増額に伴い、副賞を1,000万円/件から2,000万円/件へ増額することが第47回理事会で承認された(2022年12月12日)。

- ② 贈呈式は新型コロナウイルス禍の影響により延期した、第20回高峰記念第一三共賞贈呈式と合同開催し、受賞者の表彰ならびに講演を実施した（2024年2月6日 ステーションコンファレンス東京）。出席者数は94名。

3.2 研究業績褒賞受賞研究テーマに関連するシンポジウム開催（定款第4条(5)）
（本年度休止）

(1) 概要

高峰記念第一三共賞受賞者の業績を記念したシンポジウムを開催し、学术交流の場を提供することにより、研究の振興並びに若手研究者の養成を図る。

(2) 名称：高峰カンファレンス

以 上

4. 附属明細書

[資料-1]

2023年度研究助成採択者

50名（200万円交付）

生命科学研究分野

（50音順、敬称略）

氏名	所属機関名	研究課題名
安西 淳	慶應義塾大学医学部 難治性循環器疾患病態学寄付研究講座	体細胞モザイクの解析による動脈硬化進展の新規分子機序解明
石内 崇士	山梨大学大学院総合研究部生命環境学域	多能性の多階層的制御機構の解明
石橋 亜衣里	大阪大学大学院医学系研究科免疫制御学教室	糖鎖発現制御による腸管恒常性維持機構の解明
伊藤 美智子	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学環境医学研究所分子代謝医学分野	リソソーム機能障害に基づく炎症慢性化機構の解明
稲垣 毅	群馬大学生体調節研究所 代謝エビジェネティクス分野	脂肪細胞分化におけるクロマチンオープネスの制御とその分子基盤の解明
井上 大地	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部	RNAメチル化酵素を標的とした新規白血病治療応用
岩崎 有作	京都府立大学大学院生命環境科学研究科動物機能学研究室	ホルモンによる求心性迷走神経活性化を介した抗うつ作用と作用機序解明：＜求心性迷走神経・視床下部オキシトシン神経＞ 連関の解析
小川 亜希子	東北大学 加齢医学研究所モドモクス医学分野	m ⁶ A代謝による新たな生体内ネットワークの解明
沖米田 司	関西学院大学生命環境学部 生命医科学科	形質膜タンパク質品質管理における代償的ユビキチン化機構の解明
奥村 正樹	東北大学学際科学フロンティア研究所	ウイルス感染のレドックス制御メカニズムの理解
川内 敬子	甲南大学大学院フロンティアサイエンス研究科・腫瘍分子生物学研究室	DNA高次構造によるレトロトランスポゾンLINE-1遺伝子の転写調節機構の解明とその制御法の探索
木口 倫一	和歌山県立医科大学薬学部生体機能解析学研究室	痛みの性差を形成する神経細胞の機能解析
倉重 毅志	国立病院機構呉医療センター 臨床研究部	Non-coding repeat伸長による運動ニューロン障害の病態解明
小池 佑佳	新潟大学脳研究所分子神経疾患資源解析学分野	脊髄小脳変性症3型の原因遺伝子ATXN3が、TDP-43の核内機能に与える影響の解明
合山 進	東京大学大学院新領域創成科学研究科	TP53変異型赤白血病における腫瘍免疫抑制因子の同定
佐々木 亮	京都大学大学院医学研究科高次脳科学講座神経生物学	報酬とリスクの獲得嗜癖行動に関与する脳回路調節機構の解明
清水 逸平	国立循環器病研究センター 研究所 心血管老化制御部	補体経路制御による新たな老化細胞除去法の開発
高橋 暁子	公益財団法人がん研究会がん研究所 細胞老化研究部	骨転移乳がんのDormancy獲得メカニズムの解明
田中 知明	千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学講座	2型自然リンパ球による免疫一代謝連関に基づく新たな糖尿病分子基盤と創薬への応用
田中 愛	信州大学医学部医学科循環病態学教室	AM-RAMP2系、AM-RAMP3系の機能分化の解明と、癌転移制御への応用
常松 友美	北海道大学大学院理学研究院生物科学部門行動神経生物学分野	線維化アミロイドの種類・部位特異的投与による睡眠への影響

氏名	所属機関名	研究課題名
仁科 隆史	東邦大学医学部生化学講座	新規移植モデルを用いた大腸がん形成機構の解明
野村 征太郎	東京大学医学部附属病院循環器内科	ストレス誘導性の局所オルガネラ破綻が惹起する心不全病態の解明
原 昌稔	大阪大学大学院生命機能研究科	正確な染色体分配を支えるキネトコア複合体構築の分子機構の解析
坂東 泰子	三重大学大学院医学系研究科基礎系講座分子生理学分野	多能性分化能を有する新たな心筋構成細胞の発見と心不全病態解明への応用
平林 哲也	公益財団法人 東京都医学総合研究所 基盤技術支援センター 研究技術開発室	脂肪肝の抑制を指向したリン脂質代謝機構の解明
平山 真弓	熊本大学国際先端医学研究機構	RNAヘリカース異常によるR-loopの蓄積が造血管腫瘍を発症させる機序の解明
藤田 慶大	金沢大学子どものこころの発達研究センター	神経細胞発生と成熟を運命づけるMARCKSL1の機能解明
藤本 聡志	九州大学大学院医学研究院疾患情報研究分野	発達期のシナプス競合を制御する分子基盤の解明
藤森 さゆ美	徳島大学先端酵素学研究所 免疫系発生学分野	Wnt/beta-cateninシグナル伝達制御による胸腺退縮機構の解明
松花 沙織	神戸大学大学院理学研究科生物学専攻	心臓の形態的複雑さをもたらす心臓神経堤細胞の分化機構の解明
松村 貴由	自治医科大学分子病態治療研究センター 人類遺伝研究部 兼任 循環器内科	造血幹細胞老化による心血管疾患発症機序の解明
丸山 健太	自然科学研究機構 生理学研究所生体機能調節研究領域	癌を抑制する新しい方法論の提唱
三宅 健介	東京医科歯科大学高等研究院卓越研究部門炎症・感染・免疫研究室	プシ好塩基球の分化を司る責任転写因子の同定
茂木 文夫	北海道大学遺伝子病制御研究所	老化による卵子の品質変容における力学作用の機能解析
森本 悟	慶應義塾大学医学部生理学教室	筋萎縮性側索硬化症の診断・進展・治療効果判定に応用可能なneural EV-micro RNA biomarkerの開発
柳井 秀元	東京大学先端科学技術研究センター 炎症疾患制御分野	神経軸索ミエリン化および脳梁形成におけるHMGB1の機能解明
柳 茂	学習院大学理学部生命科学科分子生化学	ミトコンドリア機能制御と疾患
山口 新平	東邦大学理学部生物科幹細胞リプログラミング教室	ゲノムインプリンティングによる脳の発分化制御機構

創薬基盤研究分野

氏名	所属機関名	研究課題名
有澤 光弘	大阪大学大学院薬学研究科医薬合成化学分野	去勢抵抗性前立腺がん治療を目指した新規化合物の設計・合成と機能評価
池田 朱里	北里大学大村智記念研究所	微生物二次代謝産物ODTAAを基盤とした広域メタロ-β-ラクタマーゼ阻害剤の創製研究
大金 賢司	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 (理学部化学科)	Sanfilippo症候群C型を標的とした薬理学的シャペロン探索

氏名	所属機関名	研究課題名
小嶋 良輔	東京大学大学院医学系研究科 生体情報学分野	改変レポーター酵素とプロドラッグの活用による新規がん治療法の開発
小林 弘一	北海道大学大学院医学研究院微生物学免疫学分野免疫学教室	AIによる構造ベースの最先端スクリーニング技術を用いた広域抗ウイルス薬の開発
小山 靖人	富山県立大学工学部医薬品工学科	ラソバプチドアナログの合成と空間結合の特性評価
田口 恵子	東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 食糧化学研究室	臨床薬剤として期待される新規セレン含有化合物によるNRF2活性化メカニズム
濱田 圭佑	東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科病態生化学教室	シングルドメイン抗体を用いた膜タンパク質分解誘導剤の開発
眞鍋 史乃	星薬科大学薬学科	有機合成糖鎖と抗体糖鎖均一化テクノロジーの融合による抗体依存性細胞傷害活性増強

新領域研究分野

氏名	所属機関名	研究課題名
梨本 裕司	東京医科歯科大学生体材料工学研究所	口腔-全身連関の開始機序に迫る歯肉チップの創出
安河内 友世	九州大学大学院歯学研究院OBT研究センター	胎内栄養環境と出生後肥満の世代間継承メカニズムの検証

2023年度PIセットアップ研究助成採択者

11名（400万円交付）

生命科学研究分野

(50音順、敬称略)

氏名	所属機関名	研究課題名
岩崎 由香	理化学研究所生命医科学研究センター	非コードゲノム領域による核内構造形成の機能的理解
岡江 寛明	熊本大学発生医学研究所	幹細胞を用いた試験管内ヒト着床モデルの開発
加藤 一希	東京大学先端科学技術研究センター	機能的凝集体を介した自然免疫応答の理解と自己免疫疾患治療への展開
楠山 譲二	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	胎盤における母親と父親の運動情報の統合と次世代伝達機構
城村 由和	金沢大学がん進展制御研究所	細胞種特異的な細胞老化制御システムを用いた個体老化・加齢性疾患発症の分子機構の解明
竹内 春樹	東京大学大学院理学系研究科	嗅覚刺激による認知症に対する疾患修飾療法の開発
戸田 知得	熊本大学大学院生命科学研究部	経験・記憶による血糖調節メカニズムの解明と応用
増田 隆博	九州大学生体防御医学研究所	脳内マクロファージを切り口とした中枢神経系疾患発症メカニズムの理解
森田 梨津子	理化学研究所生命機能科学研究センター	多細胞システム構築過程の網羅的細胞動態解析を可能とする技術基盤の確立

創薬基盤研究分野

氏名	所属機関名	研究課題名
平野 圭一	金沢大学医薬保健研究域薬学系	元素創薬を拓く周期表元素横断型・縦断型有機合成化学研究

新領域研究分野

氏名	所属機関名	研究課題名
安田 仁奈	東京大学大学院農学生命科学研究科	人々のくらしと健康の基盤となる造礁サンゴの種多様性とその機能解明

2022年度海外留学奨学研究助成採択者

6名（550万円/年、2年交付）

（50音順、敬称略）

氏名	所属機関/留学先/国名	研究課題名
加藤 裕之	東京大学医学部附属病院 Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School USA	遺伝子変異がもたらす肺癌の代謝・エピゲノムリモデリングの治療標的化
佐藤 和貴	筑波大学生存ダイナミクス研究センター Yale school of Medicine USA	相分離によるT細胞受容体のシグナル伝達機構の解明と腫瘍環境における制御性T細胞の人為的制御への応用
杉崎 陽一郎	神戸大学大学院医学研究科 Columbia University Medical Center USA	人工知能と血管内イメージングによる不安定プラークの特徴の解明と急性心筋梗塞発症予測モデルの開発
竹田 玲奈	東京大学医科学研究所 Dana-Farber Cancer Institute USA	エピゲノムを標的とした前白血病に対する先制的治療の開発
中澤 世識	群馬大学大学院医学系研究科 Massachusetts General Hospital Cancer Center, Harvard Medical School USA	肺癌における分子標的薬に対する治療抵抗性のメカニズム解明
松原 崇紀	藤田医科大学医学部 The University of North Carolina USA	情動変化に伴う疼痛制御メカニズムの解明

2023年度海外留学奨学研究助成採択者

4名（550万円/年、2年交付）

（50音順、敬称略）

氏名	所属機関/留学先/国名	研究課題名
上田 潤	京都大学大学院医学研究科 Northwestern University USA	異なるサブタイプのドパミン作動性神経細胞に対するアルファシクレイン病理の影響
黒田 雅士	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 シンシナティ小児病院医療センター USA	肥満病態におけるRNAダイナミクスの意義
相田 泰毅	慶應義塾大学大学院理工学研究科 カリフォルニア工科大学 USA	新規リアノイド群とその類縁体の網羅的全合成およびリアノジン受容体結合能の解明
渡辺 佳織	京都大学大学院生命科学研究所 Whitehead Institute for Biomedical Research USA	タンパク質飢餓下での生殖細胞内サテライトDNAの選択的分解機構と適応的意義の解明

2024年度海外留学奨学研究助成採択者

6名（750万円/年、2年交付）

生命科学研究分野

(50音順、敬称略)

氏名	所属機関/留学先/国名	研究課題名
足立 晃正	都立墨東病院皮膚科 Harvard Medical School USA	菌性感染症が皮膚炎症に及ぼす病態メカニズムの解析
安達 裕助	東京大学医学部附属病院循環器内科 CVPath Institute USA	ヒト動脈硬化性疾患における炎症および免疫制御メカニズムの解明
笠原 由佳	九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学講座 ペンシルバニア大学 USA	てんかんに伴う認知障害を引き起こす神経回路活動の解明
長野 真大	京都大学大学院医学研究科生体構造医学講座機能微細形態学 Massachusetts Institute of Technology - MIT USA	細胞分化を規定する動的エンハンサープロモーター制御機構の解明
山田 臣太郎	東京大学医学部附属病院循環器内科 セントルイス・ワシントン大学 USA	マルチオミクス解析による神経線維腫症 I 型の分子機序解明および個別化医療の実現

創薬基盤研究分野

氏名	所属機関/留学先/国名	研究課題名
奥 直樹	京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻有機設計学講座 Cornell University USA	電気・光協働触媒による脂肪族アルケンのanti-Markovnikov型水和反応の開発